



現場で活躍する女性達

このコーナーは、月に1回、現場で活躍する女性に業務内容や仕事に対するやりがい、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



山九株式会社

千葉支店 物流第二グループ
市川ロジスティクスセンター 1 係
塩原 洋子さん

PROFILE

・2011年入社。東京出身。入社後1年半、東京支店物流Gにて重量物の輸出入事務や輸入コンソリ業務を経て、千葉支店輸出入Gに配属、輸出入乙仲業務に従事した後、現部署に異動。『社会を縁の下から支えたい』、そんな想いから山九に入社。現在は、3PL事業立ち上げ業務を担当し、お客様から一括委託された倉庫内における業務・作業管理を行っています。休日になると同期と一緒に趣味のショッピングに行くことが多いとのこと。

～担当業務について教えてください～

私が所属する物流Gでは、お客様からの依頼に対し、商品を発送するまでの倉庫内における安全・品質・収支・進捗・労務・作業等の管理を行っています。その中でも私は、要員調整や作業計画を行っています。倉庫全体を管理するため、現場監督者や約130名のパートさんとコミュニケーションを取り、連携しながら日々作業改善を行っています。

～仕事に対するやりがい～

私の部署で取り扱っている商品は物流の波動性が非常に大きく、計画の倍の出荷依頼や急な機械トラブルなど、作業計画通りに進むことは少なく、その都度臨機応変な対応を求められます。急な出荷量に対応するには、現場監督者やパートさんとの協力が欠かせません。年末前などの繁忙期は、チーム一丸となって作業を終えた時に得られる結束力に、強いやりがいを感じます。また、最近では現場にトラブルがあった際、意見を求められたり、相談されることが多くなりました。そのような時、強いやりがいを感じます。今後も現場スタッフがより良い環境で作業を行えるよう、邁進したいと思います。



～今後の抱負や目標について～

当社の行動規範の一つに『現場の汗を結集し、強い企業であり続けます』という言葉がある通り、今後、現場が流した汗を無駄にせず、お客様、現場に還元していけるようなシステムづくりに力を入れていきたいと思っています。また、女性の先輩社員として後輩が今後活躍できる場を広げられるよう、道をひらいていくことも目標の一つです。東京支店に在籍している際に、作業着を纏いながら的確に現場を管理する、頼りの先輩がいました。私も後輩からそのように頼られる存在になるべく、今後の業務に取組みたいと思っています。

